



生活指導だより

クローバー



府中市立府中第五小学校

校長 布宮 英明

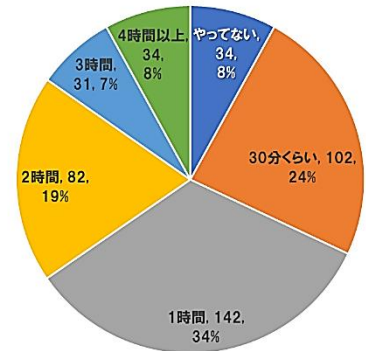
五小 生活指導部

令和2年11月27日

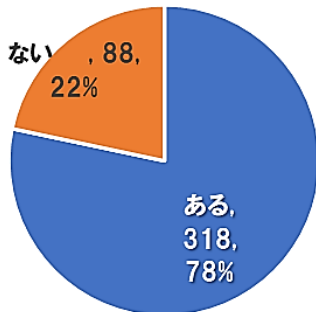
冬休みが近づいてきました。クリスマスやお正月がある冬休みは、ゲーム機に触れる時間も多くなる時期です。7月に行われた個人面談では、オンラインゲームの話題が複数のご家庭からありました。休校中、ゲームをする時間が増えてしまい、学校が始まって長い時間やっているというお話や、オンラインゲームのボイスチャットと呼ばれる機能で乱暴な言葉が聞かれて心配というお話をいただきました。

学校だより10月号でもお伝えした通り、アンケート調査によると、中高学年のほとんどの児童がなんらかのゲームをやっています。今の時代、これは「普通」のことでしょう。問題の一つは時間です。ゲームをしている時間が長くなると、当然、他のことに影響してきます。

◆ゲーム機やスマホを使ってゲームをしている時間は一日どのくらいですか。



◆ゲームをやる上で家庭で決めた約束がありますか



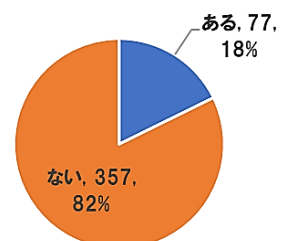
多くのご家庭が何らかの約束をして、子供たちに遊ばせているようです。約束で多かったのは、『時間を決めてやる』というものでした。また、『土日だけ』『外には持ち出さない』など一定の制限をかけている家庭、宿題やお手伝いなど、『やるべきことをやったらできる』というように、学習などと絡めて約束を決めている家庭も多いようで、工夫されていると感じました。また、『課金はしない』『見知らぬ人とフレンドにならない』など、トラブルを未然に防ぐための約束をしている家庭も多くありました。

今一度、ゲームの遊び方について、お子様と確認し、約束が決められていなかったり、曖昧になったりしている場合は、あらためて確認してください。約束が守られなかった場合、どうするかもきちんと確認しておくことも必要ですね。そしてそれらをきちんと紙にかいて残しておくことが大切です。

もう一つの問題は、学校だよりでもお知らせした、「言葉遣い」です。日常生活では使わないような言葉をゲーム上で使っているうちに、日常生活でも使っているということはないでしょうか。日々多くの子供たちと接している学校現場では、子供たちの言語環境が気になるところです。YouTube上には、ボイスチャットの相手が小学生の暴言を録画している動画もありました。

府中市内の他の小学校でもオンラインゲームによる友人関係のトラブルや、課金トラブルが発生しています。楽しくゲームをしているはずの子供たちが、トラブルの被害者や加害者になることのないよう、子供たちを見守っていきましょう。

◆ゲームの中で、知らない人と文字やボイスチャットで話したことがありますか。



◆ゲームの中の相手プレイヤーの言葉で、嫌な言葉を聞いたことがありますか。

